大手前学園

令和4年8月1日

独立行政法人日本学生支援機構が発行する「ソーシャルボンド」への投資について

学校法人　大手前学園（理事長名：福井　要、以下「当学園」という）は、このたび、独立行政法人日本学生支援機構（以下、「同機構」という）が発行するソーシャルボンド（第67回日本学生支援債券、以下「本債券」という）への投資を決定しましたので、お知らせします。

「ソーシャルボンド」とは、社会的課題の解決に資する事業のために発行される債券のことであり、ESG(1)投資の対象となります。本債券は、ICMA（International Capital Market Association／国際資本市場協会）が定義するソーシャルボンド原則に適合する旨、世界的なESG評価機関であるヴィジオアイリス（Vigeo Eiris・フランス）からセカンドオピニオンを取得しております。

本債券の発行による調達資金は、同機構が担う奨学金事業の内、貸与奨学金の財源として活用されます。奨学金事業は、日本国憲法第26条や教育基本法第4条に定められる「教育の機会均等」や、国連の持続可能な開発目標（SDGs）(2)の目標4「すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」の達成に資する等、我が国の教育面の課題解決に貢献します。

当学園は兵庫県と大阪府に学び舎を持ち、これまで多くの社会に有為な人材を育成してきました。さらに2023年4月、当学園の大手前大学に「経営学部」の開設を予定しております。建学の精神“STUDY FOR LIFE（生涯にわたる、人生のための学び）”に基づいた質の高い学びの場を今後も提供して参ります。

当学園は、本債券を始めとしたESG投資を継続的に実施することで、今後も社会的責任を果たして参ります。

<本債券の概要>

銘　柄	第67回日本学生支援債券
年　限	2年
発行額	300億円
発行日	令和4年6月8日

（1）ESGとは、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の英語の頭文字を合わせた言葉。「ESG投資」とはこれらの要素を重視・選別して行う投資のこと

（2）持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる、加盟各国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのこと

以上